

「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラム Transcriptotherapeutics の創出と医療への展開」 第3回学術講演会を開催

2014年1月17日

1月17日（金）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、医薬保健研究域薬学系・医学系、がん進展制御研究所、学際科学実験センター・遺伝子実験施設の連携による「次世代重点研究プログラム・Transcriptotherapeutics の創出と医療への展開」の研究活動の一環として、大阪大学大学院生命機能研究科 准教授 木村 宏先生を迎え、「ヒストン翻訳後修飾と転写活性化の生細胞動態」と題して、第3回学術講演会を開催しました。

講演会では、ヒストン翻訳後修飾とクロマチン動態の研究のこれまでの歴史をはじめ、大規模シーケンスと組み合わせたエピゲノム解析、独自に開発されたヒストン修飾と転写反応の単一細胞レベルでの解析、さらに生体内ヒストン修飾イメージングに至るまで、最新の研究成果をわかりやすく講演していただきました。

講演会には、所内外の研究者並びに大学院生ら三十数名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

